

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どんぐりこどもの家コッコレ			
○保護者評価実施期間	2025年1月6日 ~ 2025年12月13日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	10名	(回答者数)	10名	
○従業者評価実施期間	2025年1月6日 ~ 2025年12月13日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	5名	(回答者数)	5名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月16日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・指導員の一人一人の支援技術 ・常に学習を積み、支援方法などのスキルアップを図っていっていること。 ・スタッフの学習会を保護者にも開放して、情報の共有や支援の方法を統一している点。	・プロンプとの出し方工夫 ・個にあった教材・教具の選定と提供、開発 ・ABA(応用行動分析)を用いた用いた、指導方法。 ・年2回の保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を設けている。	・保護者を巻き込んだ、学習会の定期開催 ・情報提供とお知らせに特化した「コッコレ通信」の発行 ・保護者会の中で発達支援の学習会を開催する。
2	・適切なプログラムの作成 (からだの能⇒おりこうさんの能⇒こころの能育での順番でプログラムの設定) ・利用者に合わせたプログラムの作成。 ・充実した人員配置。	・プログラムに利用者を合わせるのではなく、利用者と人数に合わせたプログラムを提供している。	・今後も集団プログラム、個別支援プログラムを提供してゆきたい。
3	・児童が楽しく発達支援を受けられる環境にあること。 ・自己コントロール出来るようなプログラムを提供していること。 ・相談体制が充実している事。 ・発達検査を始め各種検査の解説とそれに基づく指導が出来ること。	・引き続き楽しく遊びを通しての療育(発達支援)を進めます。 ・卒園生も引き続き相談があれば、対応しています。 ・発達検査の解説、それに基づいた指導の方法をとっている。	・事業所で発達検査ができる様に、資格を取得する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が狭いため。大型の運動用具が設置出来ない。 ・事務室がないため、事務仕事が進まない。	・物理的環境が主な原因。	・事務所の再選定や、狭い中でも運動や出来る環境の提供(大型運動器具は、外部の施設(公園等)を使用する等)。
2	・指導員が少ないため、一人一人の負担は大きい。	・時給が安く応募者が来ない。(せめて1,300円)	・指導員の補充を図る(時給を1,300円程にあげる等)
3			